

看護崩壊

病院から看護師が消えてゆく

小林美希 著

発売のご案内

株式会社アスキー・メディアワークスでは、**看護師不足問題に切り込んだ新書『看護崩壊～病院から看護師が消えてゆく』**を1月12日(水)に発売します。

看護師の悲劇は、明日の日本を象徴する！

医療制度に翻弄され、ギリギリの人員で長時間の夜勤をこなす看護師たち。多発する流産やうつ、過労死、これら心身の疲弊から年間10万人以上が離職し続ける現場は、超高齢化社会となる日本を支え切れるのか？ 医療崩壊が叫ばれるなか、医師不足の陰で見過ごされてきた看護師問題。その深刻な実態と今後の対策を徹底追求する、初めての警告の書。



書名：看護崩壊
病院から看護師が消えてゆく

著者：小林美希
判型：新書判
ページ数：256ページ
定価：800円(税込)
ISBN：978-4-04-870087-0
発行：株式会社アスキー・メディアワークス
書店発売日：2011年1月12日(水)

目次

はじめに

- 第1章 医療崩壊を加速させる「看護師不足」の深刻さ
- 第2章 夜勤と2交代勤務の増加が現場をむしばむ
- 第3章 制度に翻弄される看護師と患者の悲劇
- 第4章 やりがいと苦悩のはざままで 看護師が消える理由
- 第5章 命を守るため今こそ看護問題と向き合おう

著者紹介

小林美希 (こばやし みき)

1975年茨城県生まれ。水戸第一高校、神戸大学法学部卒業。株式新聞社、毎日新聞社『エコノミスト』編集部記者を経て、2007年よりフリーのジャーナリスト。若者の雇用、結婚、出産・育児と就業継続などを中心に活動している。著書に『ルポ 正社員になりたい 娘・息子の悲惨な職場』（影書房、2007年日本労働ペンクラブ賞受賞）、『ルポ“正社員”の若者たち 就職氷河期世代を追う』（岩波書店）がある。